

原寸・サイズ変換プラグイン for DocuWorks 7.0

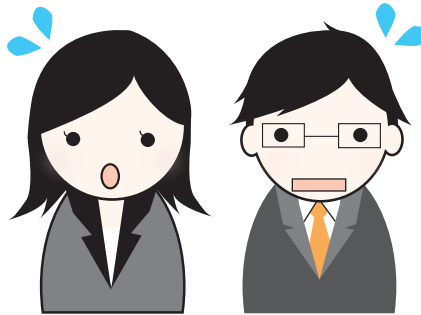
DocuWorksファイルを、元の画像の大きさや解像度に変換するプラグインと、任意の用紙サイズに変換するプラグイン



2008年12月発売となった「DocuWorks7.0」では
ファイルの最大用紙サイズがA3から2A0(長尺)になり
大判図面なども「原寸で」管理することが可能となりました。

ところで…DocuWorks7.0の新機能について、こんな要望が出ました。

DocuWorks7.0に
バージョンアップをするけど
過去にDocuWorks化した図面を
簡単に原寸にできないかしら？



DocuWorks7.0で作成した
原寸の大判図面を
旧バージョンのユーザー用に
簡単に縮小できないか？

そんなニーズにお応えする、
新しいDocuWorksに対応した2種のプラグインです。



原寸大文書への変換

旧バージョンのDocuWorksの最大用紙サイズ制限により、「実際にはA3を超える大判サイズのイメージだが、A3以下と見なされているDWファイル」を、原寸大サイズのページに戻したDWファイルを作成することができます。



用紙サイズの変換

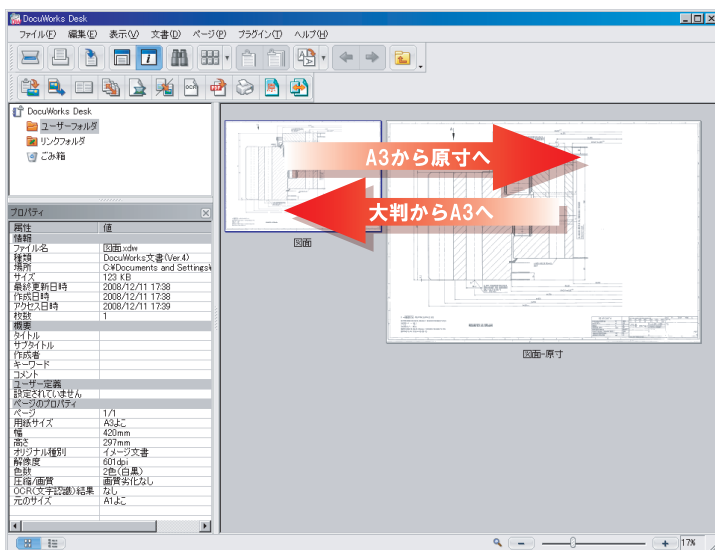
A3を超える大判サイズのDWファイルをA3以下に縮小して、旧バージョンのDocuWorksでも利用したい場合などに便利です。

さらにこんな使い方もできます

B5判とA4判の書類が混在しているのを
A4判にスッキリ統一させたい！

不定形サイズの画像を定形サイズに
ぴったり納めて印刷をラクにしたい！

* DocuWorks は富士ゼロックスのソフトウェアで
富士ゼロックスの登録商標です。



動作環境

DocuWorks 7.0の動作環境に準拠しておりますが、64ビット版Windowsはサポートしておりません。

制限事項

- ・本製品は、BMP、TIFF、JPEGなどのイメージファイルから作成されたDocuWorks文書が変換対象です。Microsoft Officeなどのアプリケーションの文書から作成したページやDocuWorks DeskやDocuWorks Viewerの新規作成によって作成されたページについては変換できません。
- ・用紙サイズや解像度にわずかな誤差が発生することがあります。
- ・文書属性の概要やユーザー定義属性、ページに設定されたユーザー定義属性は、引き継がれません。
- ・アノテーションは、引き継がれません。ただし、変換できずそのまま挿入されたページのアノテーションについては元のままとなります。
- ・セキュリティ設定のされているDW文書ファイルは、変換できません。
- ・一度に変換できるDW文書ファイル数は50ファイルまでです。
- ・一度に変換できるDW文書1ファイルあたりのページ数は50ページまでです。
- ・バインダーを複数指定した変換はできません。
- ・バインダーとDW文書ファイルを同時に指定した変換はできません。
- ・一度に変換できる1バインダーあたりのDW文書ファイル数は50ファイルまでです。
- ・バインダー内のDW文書ファイルであっても、一度に変換できるDW文書1ファイルあたりのページ数は50ページまでです。
- ・フォルダを変換元として指定した変換はできません。
- ・「用紙サイズに合わせて縮小する」を指定した場合、変換後のサイズが元々のイメージ画像の10%未満の縮小倍率となるような変換はできません。
- ・文書名がUNICODEのものは、対応しておりません。
- ・変換元がMRC圧縮のページを変換すると画質が劣化します。
- ・オリジナルデータ（DW文書ファイルに添付されているアプリケーションのデータ）は、引き継がれません。

- ・Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・DocuWorksは、富士ゼロックス株式会社の商標です。
- ・上記以外の製品名、会社名は、各社の登録商標または商標です。

開発・販売元

アシストV株式会社

東京事業所
〒140-0013 品川区南大井6-26-2
大森ベルポートC館2階
TEL 03-5493-3581
FAX 03-5493-3582
<http://www.assistv.co.jp/tools/>